

神戸北 接戦制す

松村完投、打っても決勝犠飛

神戸北―篠山産 8回表神戸北1
死一、三塁、松村の犠飛で決勝点を
挙げ、笑顔を見せる神戸北ナイン



1―1の八回、神戸北は先頭の1番鬼塚が小川監督の期待に応えた。初球を中前に運んで足場を築き、4番松村の犠飛で決勝のホームイン。接戦を制し、指揮官は「ここぞという時に打ってくれ」とうなずいた。

昨秋も1番を担った鬼塚は、春の地区大会では9番に打順を下げて3試合無安打。今大会を前に復調し、「自分が出塁し

ないと、という気持ちだけだった」と切り込み隊長の役目を果たした。

鬼塚を本塁へかえした主砲松村は、エースとしても躍動。185センチの長身から投げ下ろす直球を武器に、被安打4で完投し「みんなが打ってくれるし守ってくれる。次も周りを信じて投げるだけ」と、東播磨との2回戦に向け気を引き締めた。

(長江優咲)